

全鉄連流通動態調査結果表平成23年7月分

(23.8.24)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		6月実績	前月比%	7月実績	前月比%	7月実績	前月比%	7月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	24,935	94.2	60,200	103.6	60,290	101.1	24,845	99.6	
	大 阪	6,568	97.7	22,347	107.5	22,578	107.8	6,337	96.5	
	愛 知	5,795	93.4	3,250	132.3	2,824	98.5	6,221	107.4	
	計	37,298	94.7	85,797	105.4	85,692	102.7	37,403	100.3	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	22,475	96.5	8,764	106.0	9,031	99.5	22,208	98.8
		大 阪	18,487	103.6	7,605	83.9	8,926	105.9	17,166	92.9
		愛 知	11,834	101.3	5,924	95.8	6,614	109.8	11,144	94.2
		計	52,796	100.0	22,293	94.8	24,571	104.5	50,518	95.7
	溝 形 鋼	東 京	15,035	106.5	6,401	85.7	6,845	104.4	14,591	97.0
		大 阪	13,246	106.8	5,439	81.6	5,921	101.8	12,764	96.4
		愛 知	6,803	97.1	3,963	111.4	4,317	114.7	6,449	94.8
		計	35,084	104.6	15,803	89.3	17,083	105.8	33,804	96.4
	H 形 鋼	東 京	30,013	111.2	11,703	78.6	13,270	111.9	28,446	94.8
		大 阪	46,688	104.1	22,191	89.7	27,955	121.9	40,924	87.7
		愛 知	22,110	96.3	14,366	103.3	15,020	101.8	21,456	97.0
		計	98,811	104.2	48,260	90.1	56,245	113.5	90,826	91.9
合 計		186,691	103.1	86,356	91.1	97,899	109.7	175,148	93.8	
コ ラ ム	東 京	8,137	95.7	2,425	107.2	2,680	101.9	7,882	96.9	
	大 阪	11,252	104.3	2,691	72.0	2,864	87.4	11,079	98.5	
	愛 知	2,878	96.9	1,273	115.1	1,269	105.8	2,882	100.1	
	計	22,267	100.0	6,389	89.9	6,813	95.9	21,843	98.1	
軽 量 C 形 鋼	東 京	5,906	95.8	1,802	82.2	2,399	97.9	5,309	89.9	
	大 阪	3,212	95.6	1,458	102.0	1,626	103.1	3,044	94.8	
	愛 知	2,166	92.9	1,350	122.7	1,253	99.0	2,263	104.5	
	計	11,284	95.2	4,610	97.6	5,278	99.7	10,616	94.1	
総 計		257,540	101.1	183,152	97.4	195,682	105.7	245,010	95.1	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 37、大阪 24、愛知 15、合計 76社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。